

平成26年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただきますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 石川県金沢市立味噌蔵町小学校
 種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中等教育学校
 教員養成 技術/職業教育
 その他 ()

住所 〒 920-0931

石川県金沢市兼六元町7番15号

E-mail : misogura-e@kanazawa-city.ed.jp

Website : http://www.kanazawa-city.ed.jp/misogura-e/

児童生徒数：男子 119名 女子 101名 合計 220名

児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

① 取組概要

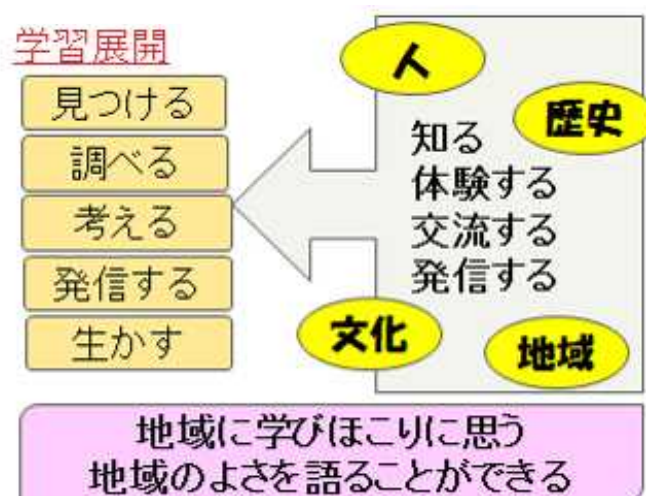
ア 本校の取組（テーマ、目的、重点）

☆テーマ	兼六園・金沢城公園に学ぶ伝統文化
☆目的	兼六園や金沢城公園を中心とした地域の伝統や文化に触れ、よさを体験し、より発展させたいという心情を養う。
☆重点	1 体験すること 知ること 2 体験の疑問・感動を基にして 探究活動重視 3 発信活動重視

イ 学年別テーマ

学年	学年別テーマ
1年生	金沢の昔遊び・金沢城公園の春夏秋冬
2年生	金沢の民話・味噌蔵町小学校区の名人さん
3年生	兼六園MAPづくり・金沢の和菓子づくりに挑戦
4年生	加賀友禅に挑戦・郷土の偉人「高峰謙吉博士」
5年生	加賀宝生に挑戦・金沢の食文化
6年生	加賀宝生を能楽堂で披露・姉妹校荒子小学校との交流

ウ 学習展開



② ユネスコスクールとしての取組

全学年を通して「地域の文化遺産『兼六園』に関わろう」をテーマとし、1・2年生では生活科、3～6年生は総合的な学習の時間を中心に各教科との関連も図りながら取り組んでいる。また、各学年においては地域に受け継がれる伝統文化に触れ、親しむ学習活動も展開している。

ア 各学年の取組

1年生「名人さんといっしょにむかしあそび」

地域のお年寄りを昔遊びの名人さんとしてお迎えし、旗源平、こま、けん玉、めんこの遊び方を教えていただいた。普段あまり目にする事のない道具を使った遊びは子どもたちにとって、新鮮で魅力的であった。

名人さんに声をかけてもらったり、手を取って教えてもらったりすることで、地域の方ともじっくりとふれ合うことができた。昔遊びの楽しさや面白さ、金沢ならではの遊びも知ることができた。学習後は友だち同士で遊び、年長さんや2年生のみんなの前で発表を行った。



2年生 「みそぐらの町で大発見！」

校区にある公共施設やお店などを調べるため、グループに分かれて町たんけんを行った。施設やお店では、そこで働く方々に店内や施設内の様子、仕事内容などをインタビューし、わかったことを発表した。

江戸時代から続くお菓子屋や100年以上前に作られた蓄音機のある施設にも訪問し、自分達が住む地域の歴史の長さにおどろいていた。また、交番や郵便局、それぞれのお店や施設で働く人の思いを知ること、子どもたちは味噌蔵の町にこのようなお店や施設があることをよかったと思うことができた。



3年生 「金沢のおいしい和菓子のひみつ」

金沢の和菓子がおいしいわけを調べるため、歴史、材料、種類、作り方、職人の技のグループに分かれ、老舗和菓子店へ行ってインタビューをした。また、和菓子職人の方に来校していただき、上生菓子づくり体験も行った。職人の方が実際に和菓子をつくる様子を見たり、自分たちも作ったりしながら和菓子をおいしく作るための工夫や、職人さんの技のすごさを感じ取ることができた。

自分達でお茶を点て、和菓子といっしょに食べることで、和菓子がなぜおいしいかや、お茶と関わりが深いことも学ぶことができた。全国でも親しまれている金沢の和菓子を、子どもたちは誇りに思うことができた。



4年生 「伝統文化に親しもう～加賀友禅～」

校区にお住まいの加賀友禅作家の方を講師に迎え、1つ1つの工程をていねいに教えていただきながら作業することで、自分の作品を作り上げることができた。時間はかかるが、全工程を実際に経験することで製作過程の職人の技や苦勞、作品が出来上がった時の喜び、友禅に携わっている人の思い・願いを感じることができた。学習を通して、職人さんの願いや技が詰まった美しい加賀友禅を誇りに思うと共に、これからも永く残していくために自分達に何ができるだろうかと未来の担い手としての自分を見つめ考える良い機会ともなった。



5年生 「伝統文化を発見しよう～加賀宝生・加賀野菜・味噌作り～」



宝生流師範の方に、加賀宝生の謡「鶴亀」を教えていただいた。また、加賀宝生の作法についても学んだ。謡は昔ながらの口伝で教えていただき、子どもたちは一生懸命に先生の謡を聴き、真似て積極的に声を出していた。

これらの稽古を通して、全員で声と気持ちを合わせて謡えたことに心地良さを感じ、6年生の前でも堂々と謡えたことに自信をもつことができた。

加賀野菜では自分たちの知りたい野菜について調べ、交流を行った。加賀野菜のプロの方から、加賀野菜の現状と今後について教えていただいた。子どもたちは、郷土の加賀野菜のよさを感じ、これからも残していきたいという思いになった。また、5年生は今年度新しく、校名にちなんだ味噌作りも行った。次年度からも続けていく。



6年生 「荒子小学校と交流しよう」

前田家の縁により校章が似ていることから、名古屋市の荒子小学校の6年生と交流を続けている。5年生とも協力して交流をし、異学年との学びや活動も充実させることができた。交流集会では互いの学校のことや、地域のことを紹介し合った。集会の後、グループに分かれて兼六園・金沢城公園・尾山神社・尾張町・21世紀美術館を案内した。そのために事前に何度も足を運んで取材をしたり、資料から調べ学習を進めたりしてまいどさんになる準備をした。

自分たちの暮らす町だが、詳しくは知らないという子も多く、地域を学ぶとても良い機会となった。そしてその中で、自分たちの暮らす地域について再確認できた。



イ みそっこユネスコ集会

1月28日(水)には、みそっこユネスコ集会を行い、各学年の取組を地域の方、これまでお世話になった方、地域の方、保護者、他学年の子に向けて発信した。今年度は、低学年・中学年・高学年の2学年ずつに分かれて発信・交流の場となるようにした。ただ学んだことを発信するだけでなく、子どもたちが質問し合ったり、答え合ったりするなど意見のやりとりができる集会となるようにした。その結果、発表を聞く側の子どもたちの意識も高まり、来年度の学習に対する見通しをもつことができた。

保護者や地域の方々も多数参観してくださり、本校の伝統ある取組を伝える良い機会になった。参加する保護者や地域の方から、質問や感想も出て、有意義な集会となった。

③ 成果と課題

子どもたちは、発信・交流の場を設定することで、発信することへの自信がついてきている。地域・伝統文化について学んだことを発信することが、自分たちがこれからどうしたらよいかなど、自分を考え見つめることにつながっている。また、知る・体験する学習を重視することで、子どもたちは、地域、伝統文化のよさを改めて知り、外に向かって語れるものをもてるようになった。自分たちの地域に伝わる伝統文化を大切にしたい気持ちも強くなってきている。

持続発展教育カリキュラムの作成上の工夫については、1年から6年生まで系統的に学習することで、子どもたちに見通しが持て、意欲的に学習することにつながっている。また人数が少なくなり、学年を合体させ学習することになったことが、異学年交流の場となり、より関わりが深まった。

今後は、ただ発信するだけでなく、子どもたちの質問力、対話力を向上させるために交流の場をさらに工夫していきたい。とくに交流をする相手とのお互いのやりとりができるよう、関わり合うことよさや重要性を伝えていける学習過程としていきたい。また、体験や知ることを重視するあまり、自分たちで課題をもち解決しようとする気持ちがまだまだ弱いので、子どもたちがより問題意識を高め主体的に学習に取り組むことができるように、学習過程や単元構成の工夫をしていきたい。

(2) 活動時間について(下記から選択して下さい。)

通常の授業時間を使用(総合的な学習の時間を含む)

時間外活動の時間を使用

ユネスコクラブの活動として実施

その他()